

KSN 通信 VOL.209

こんにちは。いつも弊社をご利用いただき、誠にありがとうございます。

エジプトのクフ王のピラミッド、中国の秦の始皇帝陵と並ぶ世界3大墳墓の一つといわれる堺市の「大山古墳（仁徳天皇陵古墳）」を上空から眺める気球の運行が10月4日から開始されます。運行時間は午前10時～午後6時、古墳に隣接した大仙公園を発着場として、地上約100mの上空から古墳や堺の街並みを眺望できます。



■ 環境ニュース

「いぶき GW」(GOSAT-GW)搭載 温室効果ガス観測センサ3型(TANSO-3)の初観測について

環境省は、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)及び国立研究開発法人国立環境研究所(NIES)とともに共同で開発してきた温室効果ガス・水循環観測技術衛星「いぶき GW」(GOSAT-GW)を打ち上げ、初期機能確認運用を実施し、今回、同衛星に搭載された「温室効果ガス観測センサ3型(TANSO-3)」の初観測を行って、TANSO-3が正常に動作していることを確認しました。「いぶき GW」では、面的な観測により、地球全大気の二酸化炭素およびメタン濃度の継続モニタリングを行うとともに、これまで困難だった面積が小さい国・地域の排出量をより精密に推計できるようになります。また、化石燃料の燃焼により二酸化炭素とともに排出される二酸化窒素の同時観測を行い、発電所などの大規模排出源を検出し、都市や施設からの排出量を定量化します。初期機能確認(打上げ後3か月間)後は、センサの精度確認やデータ補正等の初期校正を経て、定常的な観測運用へ移行し、令和7年内の関係者へのデータ提供を目指しています。

◆参照 URL (<https://www.env.go.jp/content/000333610.pdf>)

■ リサイクルニュース

令和5年度の食品廃棄物等の年間発生量及び食品循環資源の再生利用等実施率

農林水産省より、「食品循環資源の再生利用等実態調査結果」と「食品リサイクル法に基づく定期報告結果」を用いた推計によりとりまとめられた、平成5年度食品廃棄物等の発生量及び食品循環資源の再生利用等実施率が公表されました。食品廃棄物等の年間発生量が100トン以上の事業者からの発生量(定期報告値)と年間発生量が100トン未満の事業者からの発生量の推計値を合算することで、食品産業全体からの年間発生量を推計、このうち年間発生量が100トン未満の事業者からの発生量は、食品循環資源の再生利用等実態調査(令和4年度)を基に推計されています。

業種	食品廃棄物等の発生量(単位:千トン)			食品循環資源の再生利用等実施率		
	令和5年度	(参考)令和4年度	対前年増減率	令和5年度	(参考)令和4年度	目標値
食品産業計	14,263	15,246	-6.4%	90%	89%	—
食品製造業	12,098	13,149	-8.0%	97%	97%	95%
食品卸売業	156	171	-8.8%	61%	62%	75%
食品小売業	914	934	-2.1%	63%	61%	65%
外食産業	1,095	991	10.5%	34%	32%	50%

発行元：株式会社関西再資源ネットワーク

〒592-8331

大阪府堺市西区築港新町4丁2番5

TEL : 072-320-9001 (代表)

FAX : 072-320-9004